



庁舎だより



撮影地：野尻町東麓

避難所誘導灯のお知らせ

のじり聞き書き vol. 16

各地で受け継がれる
フロンティア精神

目的・概要【お知らせ】

避

難所等周辺の誘導灯が整備されました

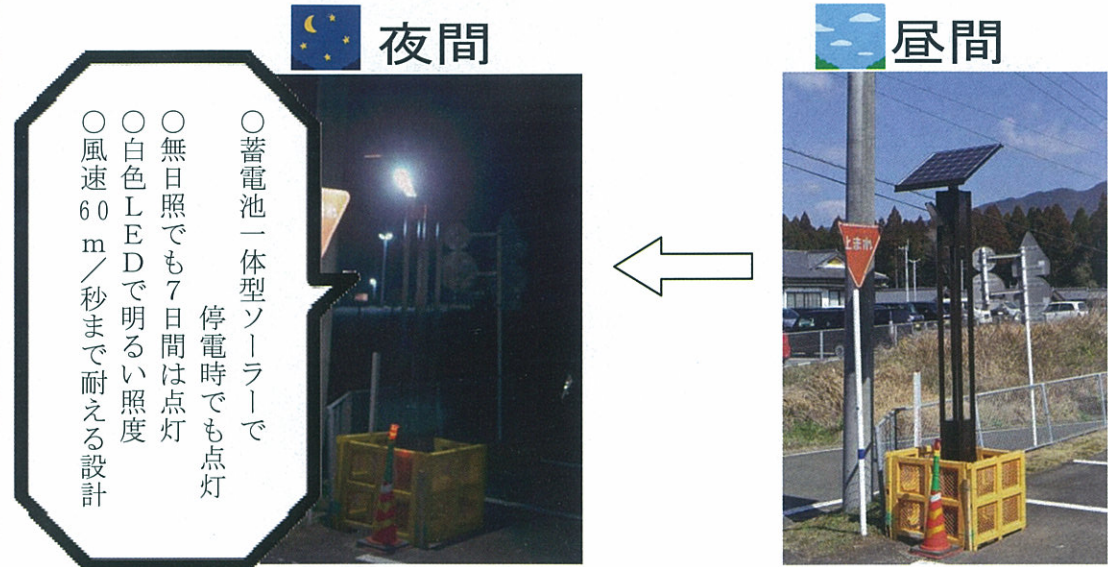
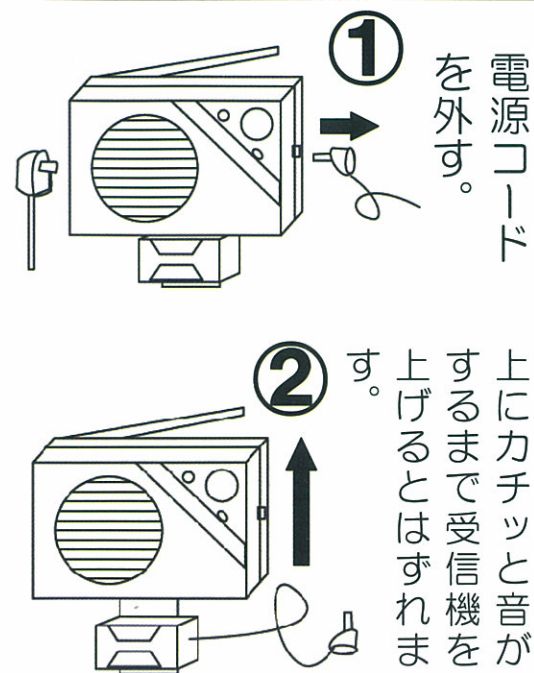
非常時に備えて

防災行政無線機は年に1度電池交換をお願いいたします

■電池が切れていると、停電した時に聞くことができず。また、電池が液漏れをして壁や床を汚したり、故障の原因になりますので必ず交換してください。

■音量は、聞きやすい大きさに「音量つまみ」で調整してください。災害発生等の緊急放送は自動的に大きな音で聞くことができます。

電池交換の方法



【総事業費】約3,000万円（野尻地区のみ）
 【CO2削減効果】約1トン/年（野尻地区のみ）

市が掲げる「九州一安心・安全なまちづくり」の一つの取り組み。市内の避難所の誘導灯について、太陽光エネルギーを電源とした誘導灯の整備をし、災害に強い地域づくりが目的の事業です。

具体的には県が創設している「グリーンニューディール基金（※）」を活用し、蓄電池一体型ソーラー街路灯を野尻地区（28基）と須木地区（10基）の避難所の避難安全確保のため設置する。

※宮崎県公共施設再生可能エネルギー等導入推進基金

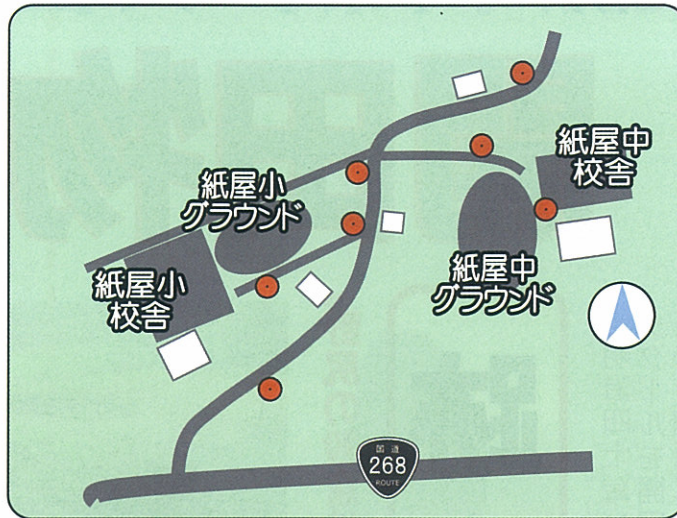
設置箇所

■大雨災害時の避難施設 ●避難誘導灯

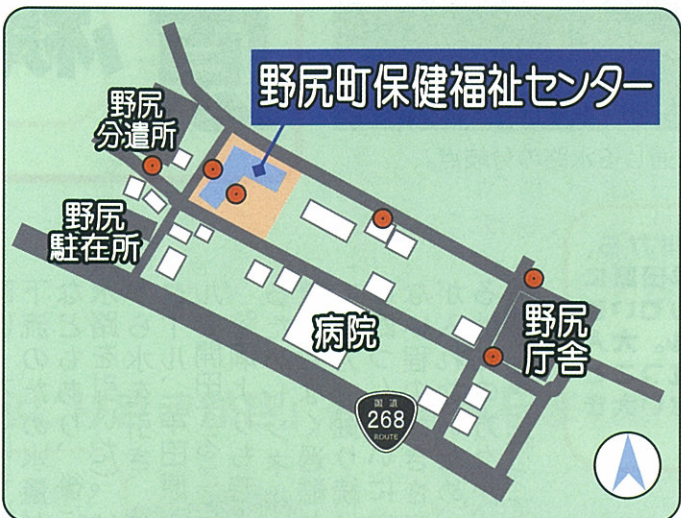
紙屋老人福祉館周辺



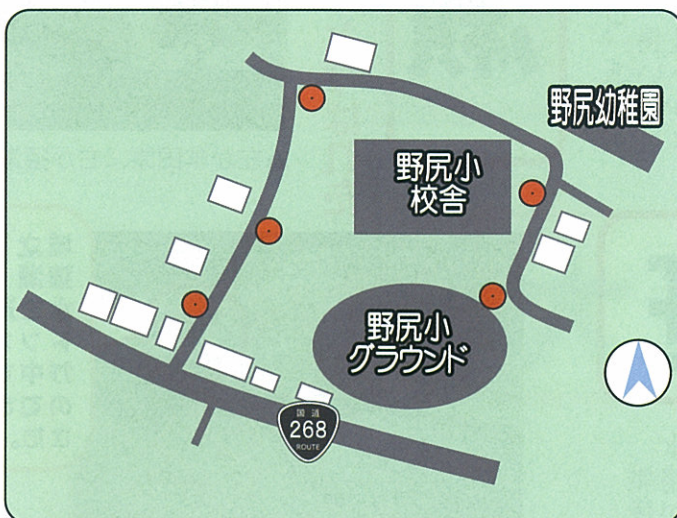
紙屋小・中学校周辺



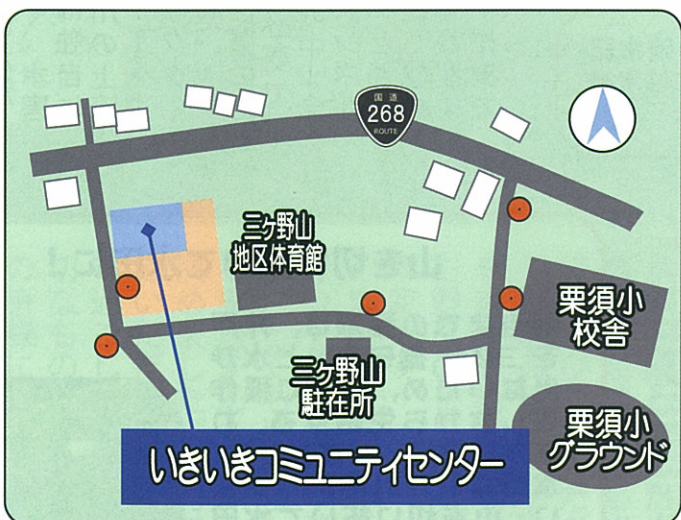
野尻町保健福祉センター周辺



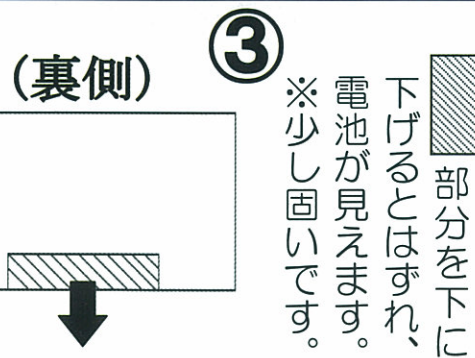
野尻小学校周辺



いきいきコミュニティセンター周辺



※避難する際は、最新情報を確認してください。



無線機の電源が入らない、電源は入るが音が鳴らないなど、わからないことがある場合は下記までご連絡ください。

連絡先：地域振興課 Tel 44-1100

SNSで物産を広めていきます！

Facebook ページを作りました！できるだけ毎日更新しますので、ぜひご覧ください！
下記QRコードからページを開くことができます！



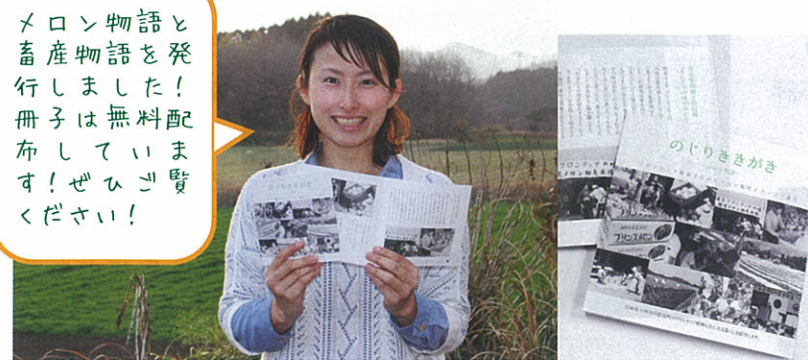
(落合夏樹)



のじり農産加工センターのフェイスブックページを作成しました！大きな目的は野尻の認知度を高めることです。ほぼ毎日野尻の様子を更新しています。また、3月中旬から同センターの公式ホームページの開設にも取り組みます。ホームページでは商品を知ってもらう、インターネット販売で販路を拡大していく予定です！SNSを活用し、野尻のハープを広めていければと考えています。

「のじりききかき」冊子完成しました！

メロン物語と畜産物語を発行しました！冊子は無料配布です！ぜひご覧ください！



メロン物語と畜産物語の冊子が完成しました！役場や図書館などで配布しておりますのでぜひご覧くださいませ！
今後はふるさと納税の返礼品や東京の物産館など、市外でも野尻のPRに活用していく予定です。
また、私事ですが三月いっぱい協力隊を卒業いたしました。とても迷いましたが、夢を実現するため旅立つことを決めました。全力で活動させていたことができて、野尻で過ごした時間は、とても大切なものとなりました。野尻の皆様には大変お世話になりました！ありがとうございました！
(細川絵美)

各地で受け継がれるフロンティア精神

跡瀬・猿瀬・牟田原・大笹

開田物語

野尻の「フロンティア精神」の原点となった田丸貞重翁、信時金之助翁を中心に水路を引き開田した「野尻原」と「漆野原」。この地域だけでなく、明治から昭和にかけて独自に水路を引き開田した物語があります。元野尻町長 長瀬道大さんのお話を基に、跡瀬・猿瀬・牟田原・大笹の開田物語を紹介します。

水田ができ、集落が生まれた

猿瀬
牟田原



▲左が牟田原、右が猿瀬に通じる水路の分岐点。

跡瀬

「野尻の穀倉地帯」と呼ばれた



▲跡瀬水利組合によって守られている、流水記念碑。

明治四十年に通水し、30ヶ月をかけた明治二十六年に、長い年月水利権を獲得した、城之下川から水路を引いている。当時は山から湧水で稲作をするところが点在しているだけで、水田がまとまった地域はほかになく、「野尻の穀倉地帯」と呼ばれていた。

大笹

美しい湧水が流れる



戦後間もないころ、水害で水路が崩壊したこともあり、昭和32年、独自に五色温泉上流の湧水から水路を引き、新たに12ヘクタールの水田が誕生した。湧水を使用しているため、水質はとても綺麗な流水記念碑。工事に携わった人の名前が彫ってある。



城之下川から、猿瀬・牟田原に水を運んでいるトンネル。大人が中で立つことのできない大きさだ。



猿瀬・牟田原の流水記念碑(左)。隣には水神様が祀ってある。

跡瀬の用水路完成から二年後の、明治四十二年に完成した(当時、大笹にも通水していたが、下流のため水量が少なく、水害などもあり、後に大笹は独自に水路を引いた)。城之下川の上流から水を引く、猿瀬が11ヘクタール、牟田原が13ヘクタールを開田することができた。跡瀬よりも若干高い位置にあるためトンネル工事が必要で、道具もなく過酷な環境の中、全て人力で掘り続けた。トンネルは四つん這いにならないと通れない程の大きさで、現在も機械が入れないため、水路を管理する地元の方々が、今も手作業で補修工事を行っている。

山を切り拓いて水田に！

明治までの猿瀬は、井戸を30m掘らないと水が出ないため、湧水で稲作をしながら生活する、わずかな住居しかなかった。水路が引かれ開田が始まり、山を切り拓いて水田にし、豊かな生活が送れるようになり、大正時代、移住者が増え集落ができた。水田の有無は、地域形成に大きな影響を与えていた。



▲「この下をトンネルが通っている」と説明する長瀬さん。



▲復元された明治40年頃の猿瀬の様子。

取材を終えて

跡瀬・猿瀬・牟田原・大笹の開田については、資料がほとんど残っておらず、詳細な紹介は難しいと思っていましたが、長瀬さんが地域の先輩方から語り聞いたことを基に独自に調査をしており、今回聞き書きで取り上げることができました！先人たちが紡いできた道があり、守り続ける人がいて、今がある。野尻のいたるところで、フロンティア精神の結晶が息づいていることを改めて感じました。(地域おこし協力隊 細川絵美)



● **紙屋一徳まつりが開催されました**

バケツリレーの体験や消防車への試乗会、放水体験に子ども達は目をかがやかせていました。また炊き出し訓練を兼ねた空き缶を利用してのご飯炊きを体験しましたが、皆初めての体験でもあり悪戦苦闘していました。炊き出し訓練の豚汁の振る舞いにはおかわりも出て地域住民と子ども達一体となり盛況に終了しました。

● **生の音楽を堪能いただき生活に潤いを!**

宮崎市を中心に活動されている、音楽家の好意により昨年初めて開催し大変好評をいただきました春の芸能ショーが本年も2月26日道の駅ゆくばるのじりで開催されました。琴・三味線・尺八・18弦(琴)などの生演奏の素晴らしい響に参加者150名の皆様は聞き入っておられました。当日は生バンド演奏による昭和歌謡のカラオケもあり、懐かしい歌声に会場の皆さんも一緒に歌いながら大いに盛り上がりっていました。



住民交流委員会から 地域の団体をご紹介します!

22 小林市ミニバレー協会野尻支部



【活動内容】 地域住民の交流、ミニバレーボールの普及、体力増進などを目的として、30~80歳の男女計84名の会員で活動しています。普段は町区域内3会場それぞれ練習をしていますが、年7回町内大会を開催します。他にも県大会なども行われます。

【支部長 田爪満生さん】 町内大会は大会毎に抽選でチームを編成しますので、お一人からでも気軽に参加可能です。気になる方はぜひ練習会場にお越しください。

【練習会場】 紙屋地区体育館 (毎週水曜)
農村環境改善センター (毎週金曜)
野尻中学校体育館 (毎週水曜)

【練習時間】 各会場とも午後8時~午後10時

● **お知らせ**

輝けフロンティアのじり定期総会を開催します。

日時 4月13日(木曜) 17時00分

場所 野尻庁舎 大会議室

【募集】のじりシール会からの 4月のイベント

第15回グラウンドゴルフ大会

日程 平成29年5月20日(土曜)

時間 8時30分(開会)

場所 かわのグラウンドゴルフ場

参加料 シール台紙2冊(500円分)

締切日 5月12日(金曜)

表彰 優勝3位(賞状、賞品)、4位~10位(賞品)、各種賞のほか、全員に参加賞もあります。

その他 小雨決行。猛雨時は5月22日(月曜)に延期。

申込・問い合わせ

野尻町商工会 TEL 44-1221

野尻町グラウンドゴルフ協会 TEL 44-0487



ひな祭り

3月3日に町区域内の各保育園では“ひな祭り”行事が行われました。栗須保育園では園児が作成した雛人形が



ステージに飾られました。また先生による琴の演奏を聞いたり、一緒に歌ったりして楽しい時間を過ごしました。

地域の「見える化」

3月7日に八所公民館で地域の方など約20名が参加し『生活支え合いマップ研修(主催:のじり地域包括支援センター)』が



開催されました。各自が持ち寄った地域の情報をもとに、繋がりを広げるためのマップ作成や検討を行いました。

宮崎県知事賞を受賞

弓削書道教室の生徒である大山晴司さんが『第38回読売学生書展(主催:読売新聞社)』において、宮崎県の最高位である宮崎県知事賞を受賞しました。大山さんは小学1年生の頃から同教室に通っており、今回受賞の作品は『打ち込み』や『はね』の部分が評価されたとのことです。



大山晴司さん(旧野尻中3年)

※形断意連...形にとられず己を貫く

新しい消防ポンプ自動車

2月16日に小林市消防団第8分団第2部の消防ポンプ自動車が更新されました。



同車両は2月26日に開催された、紙屋地区自主防災フェスタで展示され、地域の方にお披露目されました。

厄払い同窓会寄付

2月22日に平成3年度卒紙屋中学校同窓会(会長 有木洋介さん)が母校である紙屋中学校を訪問し、厄払い



記念としてテントが寄贈されました。同窓会等で寄付を募り購入されたもので、今後同校の行事等で利用されます。

地域情勢を知り安心について考える

2月24日に野尻庁舎で『安心まちづくり研修会(主催:野尻町駐在所連絡協議会)』が開催されました。



関係団体など35名が参加。町区域内の犯罪や交通事故、特殊詐欺の傾向などについて小林警察署より講演がありました。

記事の訂正とお詫び

3月号の『最近のできごと』で掲載しました“熱戦!第66回こばやし駅伝競走大会”の記事において誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

- (誤)【紙屋校区】2位 1時間45分35秒
- (正)【紙屋校区】2位 1時間35分53秒

